

# 豊水

静岡県水産試験場

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center  
of Shizuoka Prefectural Fisheries Experiment Station

## アワビ 深層水で成長良好

近年、陸上の水槽内でアワビを育てる陸上養殖が行われています。アワビ類は夏場に水温が高くなると成長が遅くなるため、表層水に低温・清浄な深層水を加えることで、夏場でも良好な成長を得られると考え、次のような試験を行いました。

材料には殻長約40mmのエゾアワビ( )×メガイアワビ( )の交雑種を用いました(写真)。この交雑種は成長が早く、肉質が良いことから陸上養殖に適しているとされています。試験区は、表層水が高水温となる平成16年8月12日から10月2日までに、表層水区(試験区-1)及び表層水に397m深層水を加えて水温を一定にした区(試験区-2)とし、それぞれ約500個体を飼育しました。

試験区-1での夏の最高水温は23.2であり、平均水温は $22.4 \pm 1.0$ でした。一方、試験区-2の水温は $19.6 \pm 0.8$ で飼育期間を通してほぼ一定でした。試験区-1及び-2の生残率は、100.0及び99.8%でした。また、試験区-1は、試験開始時の殻長 $41.2 \pm 3.4$  mmから終了時には $43.8 \pm 3.2$  mmとなり、この間の日間成長量は $44 \mu\text{m/day}$ でした(図)。一方、

試験区-2は、試験開始時の殻長 $40.7 \pm 2.9$  mmが終了時には $45.6 \pm 3.3$  mmとなり、日間成長量は、試験区-1に比べて約2倍の $80 \mu\text{m/day}$ でした(図)。殻付重量も同様に、表層水に深層水を加えた試験区-2で高い成長速度を示しました。

以上のように、深層水を表層水に混合させて水温を調整することにより、成長が停滞する夏場においても、成長を維持することができました。



写真 エゾアワビ×メガイアワビ交雑種

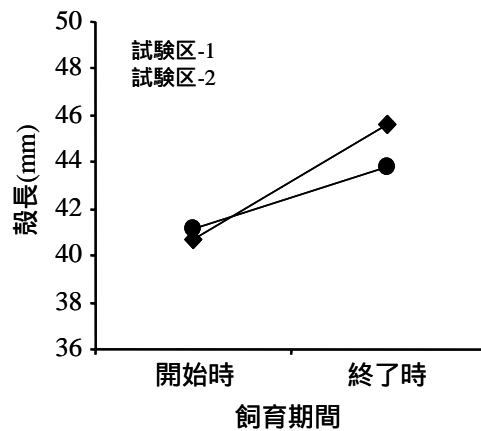


図 アワビの成長

(深層水研究室 二村和視)